

# 日本近代音楽の基礎を作った 「音楽家」下總皖一の業績 (1898～1962)

## 作曲家としての下總皖一

「たなばたさま」「花火」「野菊」「ほたる」などの曲は、下總皖一の曲として有名ですが、氏の作曲分野は極めて幅広く、合唱曲・器楽曲・協奏曲や校歌など、多岐にわたっています。また箏の曲、三味線の曲など日本の伝統音楽についても作曲し、その数2,000曲とも3,000曲とも言われています。



＜晩年の愛用ピアノ＞

## 音楽理論家としての下總皖一

昭和9年(1934)、ドイツ留学から帰って、翌10年に著した理論書「和声学」は、ドイツでの恩師パウル・ヒンデミットから称賛されました。その後次々と理論書を著し、「作曲法」「日本音階の話」「作曲法入門」「楽典」「音楽理論」「対位法」など日本の近代音楽の基礎を作ったとされています。「和声楽」の神様とも言われています。



## 音楽教育家としての下總皖一

東京音楽学校を首席で卒業した下總皖一は、各地の学校で教鞭をとりました。(女子師範学校・各地の師範学校・小学校・女子高等師範学校など。)また、留学から帰国後は母校東京芸術大学(当時東京音楽学校)で教鞭をとり、昭和31年に音楽学部長に就任。数多くの素晴らしい音楽家を育てました。

平成30年度

しも おさ かん いち

# 下總皖一 音楽賞募集

募集期間

平成30年

6/20<sub>水</sub>～9/28<sub>金</sub>



「作曲家」「音楽理論家」「音楽教育家」として  
日本近代音楽の基礎を作ったといわれる  
埼玉県出身の偉人、下總皖一の精神を受け継ぐ、  
県にゆかりのあるプロの音楽家の方を表彰します。  
素晴らしい音楽家の推薦をお待ちしています。

お問合せ

埼玉県県民生活部文化振興課  
【下總皖一音楽賞担当】

TEL:048-830-2887 FAX:048-830-4752

下總皖一音楽賞

検索

音声コード (SPコード)



活字文書読上げ装置で  
情報を音声で聞くことができます。



# 平成 30 年度 下總皖一音楽賞募集要項

## 候補者

音楽文化の向上に貢献している埼玉県ゆかりのプロの音楽家

- 作曲家  
クラシック中心で出版・演奏された複数の優れた曲がある方
- 音楽理論家・音楽評論家  
音及び音楽に関する諸現象について優れた研究・発表を行っている方
- 音楽教育家  
音楽大学等で音楽教育に携わって、指導法や後進の育成に秀でている方
- 演奏家  
優れた演奏活動（邦楽を含む。）を行っている方
- 上記以外の分野で、優れた活動を行っている方

本県ゆかり（出身、在住（歴）、在学（歴）、在勤（歴））の方を御推薦ください。

## 部門

- 音楽文化発信部門  
国内外で幅広く活躍され、今後、更なる活躍が期待できる方
- 音楽文化貢献部門  
長年にわたり、本県の音楽文化の向上に貢献されている方

## 推薦方法

個人又は団体からの推薦によります。（自薦はできません。）

- 推薦できる個人 音楽有識者
- 推薦できる団体 国・地方公共団体、大学、埼玉県内の高等学校、音楽イベントを行う団体など

「平成 30 年度下總皖一音楽賞推薦書」及び「同候補者調書」に御記入の上、「応募先」まで御応募ください。  
様式は、埼玉県のホームページからダウンロードすることができます。  
なお、推薦に当たっては、必ずしも候補者の了解を得る必要はありません。

下總皖一音楽賞 検索

## 応募締切

平成 30 年 **9月 28 日（金）**（郵送は消印有効）

## 選考

選考委員会の審査を経て、埼玉県知事が決定します。

## 表彰

平成 31 年 1 月又は 2 月に表彰式を行う予定です。  
受賞者には、賞状と記念品を贈呈します。

## 応募先

埼玉県県民生活部文化振興課【下總皖一音楽賞担当】

所在地：〒330-9301 埼玉県さいたま市浦和区高砂 3-15-1

電話：048-830-2887

E-mail：[a2875-04@pref.saitama.lg.jp](mailto:a2875-04@pref.saitama.lg.jp)

郵送、E-mail  
又は直接御応募  
ください。

## 平成 29 年度「下總皖一音楽賞」受賞者

### 音楽文化発信部門



相曾 賢一郎  
Kenichiro Aiso

ヴァイオリン奏者  
所沢市出身

欧米を中心に世界各国でソロ、室内楽、オーケストラ、教育で多彩な活動を繰り広げ、国際的な受賞多数。パーミンガム音楽院（イギリス）やローヨラ・マリーмонт大学（アメリカ）等で講師を務めるなど指導者としても活躍。英国王立音楽院からは英国音楽界への貢献に対してアソシエイト称号を授与される。出身地の所沢市においては、平成9年から所沢市民文化センターミュージズで毎年リサイタルを開催、平成15年から母校の小学校で毎年音楽教室を開催するなど、国内各地でも積極的に活動を行っている。現在、アメリカに在住し、ロサンゼルス（ローヨラ・マリーмонт大学）とラ・シエラ大学でヴァイオリン、ヴィオラと室内楽の教鞭をとる。

### 音楽文化貢献部門



高橋 美智子  
Michiko Takahashi

マリンバ奏者  
武蔵野音楽大学  
特任教授

マリンバ奏者として名実ともに我が国の第一人者。国内外で数多くのソロ活動、音楽祭の出演のほか、ソリストとして、著名なオーケストラやウィンドアンサンブルとの共演多数。また、世界最大の音域を持つコントラバスマリンバ等、新たな楽器を創案、開発された楽器は武蔵野音楽大学楽器博物館に所蔵されている。教育の面における功績も大きく、約40年にわたり、武蔵野音楽大学の入間キャンパスにおいて学生の音楽教育に力を注ぎ、国内外でソリストや大学の指導者として活躍する著名な門下生多数。現在 YouTube に 13 歳からの演奏の動画が多数アップロードされている。（高橋美智子、マリンバ、で検索）

## 下總皖一音楽賞について

下總皖一の名を冠した音楽賞は、生誕90年を記念して昭和62年に埼玉会館友の会が制定したのが始まりです。  
埼玉会館友の会は埼玉県の文化を掘り起こすことを目的に設立された団体ですが、偉大な功績を残した下總皖一に着目し、賞を創設しました。  
賞は平成7年に県に移管、平成10年からは童謡に特化した下總皖一童謡音楽賞として、多くの音楽家や音楽団体などを表彰してきました。  
平成24年、下總皖一の没後50年を記念し、音楽文化の向上に貢献しているプロの音楽家を表彰する制度にリニューアルしました。